

勝つのは誰だ

猛者達よ集え

文芸演劇祭

“

文芸演劇祭

”

文芸演劇祭

応募期間：5月9日(月) ～ 5月31日(火) - 2022年作品テーマ ユウ -

主催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団) 後援：札幌市、札幌市教育委員会(申請中) 協力：日本劇作家協会北海道支部

短編演劇祭

道内外で活躍する劇団やユニットが集まり、各チームがしのぎを削る短編作品の祭典が3年ぶりに開催！新型コロナウイルス感染症が国内外で猛威を奮い、最高の盛り上がりを見せた2019年を最後に短編演劇祭の歩みが止まっておりました。現在も尚、収束の目処は立たず、引き続き感染対策の徹底が求められる厳しい時代ではありますが、演劇のチカラで盛り上げていきたい一心で開催へと踏み切りました。例年、強豪揃いの熱きバトルが繰り広げられ、全国から注目が集まるこの祭典。震災を乗り越え、コロナと戦いながらも熱き戦いが繰り広げられること間違いなし！

勝負は本戦1回限りの真剣勝負。今年はテーマ「ユウ」を題材とした20分の短編作品で王者が決まる！書類審査を経て本戦に進めるのはわずか4チーム、そして舞台は1,100人収容可能な大ホール。この広さと舞台機構を存分に活かした作品をお待ちしております！今年を制するのは誰だ？！

応募条件

- 札幌市教育文化会館で行う舞台打合せおよびリハーサルに参加可能であること。日程は「開催スケジュール」をご確認ください。
- 事務局との連絡事務は円滑に行うこと。
 - ※ 事前審査通過後に上記が満たされない場合、予選審査での減点対象となりますので、ご注意ください。
- 5月31日（火）15:00までに応募書類一式を提出すること。
- 教文演劇フェスティバルのPRおよびチケット販売に協力すること。
- 出場が決まった際、PR用に各劇団より動画を制作して頂く場合がございます。
- 台本審査で選ばれ、出場が決まったチームには参加費として5,000円をお支払いいただきます。
 - ※ 本参加費（5,000円）の払戻は天災等含め、いかなる場合も払戻はいたしませんのでご了承ください。
 - ※ 交通費含む制作費の補助は天災等含め、如何なる場合においても致しませんので予めご了承ください。
 - ※ 開催期間中、会館内での貴重品管理は各自でおこなってください。

応募作品について

- 「ユウ」をテーマとした20分以内のオリジナル作品であること。
- 転換に係る時間が数分以内であること。
- 舞台はリノリウム敷き（黒）
- 照明・音響ともに仕込みは統一プランになります。使用音源は各チームでご手配ください。
- 舞台スタッフ（舞台監督、音響、照明）は事務局が手配します。映像等を使用する場合は、団体側でオペレーションスタッフを手配し、必ずリハーサルから同席してください。
- ご応募は1団体（1個人）につき1作品のみ受け付けます。
 - ※ 応募作品は、必ず短編演劇祭にて上演予定のものをご提出ください。台本審査通過後の大幅な台本改定は減点の対象となります。

応募方法

- 応募用紙に必要事項を記入の上、台本と応募書類を演劇フェスティバル事務局宛にメールもしくは郵送にてご提出ください。
- 応募用紙は教育文化会館HPよりダウンロードしてください。公開台本審査にて応募の中から出場4チームを選出します。
- ◎応募に必要な提出物
 - ※ご提出いただいた資料は返却いたしませんのでご注意ください。
 - ①上演台本（データ提出。郵送可）
 - ②応募用紙（400字程度のあらすじを添える）
 - ③チーム写真（予選出場決定後、広報に使用します / 下記どちらか一点）
 - ・デジタルデータ: jpeg もしくは PDF 形式 (500ピクセル × 500ピクセル以上)
 - ・アナログ写真: 4cm × 4cm 以上の正方形

写真撮影について

- 記録や広報使用を目的にリハ、本番等で写真・映像の記録撮影をする場合がございます。当方で撮影した写真・映像は、いかなる理由があっても事務局から後日配布はしません。
- 各自がリハーサルの際に、カメラと撮影者など手配し記録をお願いします。撮影の際は、恐れ入りますが事務局へ事前にご連絡ください。
 - ※各団体による撮影は、ゲネプロ時のみ可能です。
- 撮影する記録写真や映像は今後、教文演劇フェスティバルの広報に使用させていただきます。

開催スケジュール

- 5月9日（月）応募受付開始
- 5月31日（火）応募受付締切（15時厳守）
- 6月下旬 公開台本審査会・即日発表
- 8月中旬～9月上旬 舞台打合せ（大ホール）
- 9月16日（金）・17日（土）舞台リハーサル（大ホール）
- 9月18日（日）短編演劇祭本選

審査方法

□台本審査
6月下旬に、公開台本審査会を行います。応募用紙の内容と上演台本を審査します。審査員による投票の結果、本戦に進出する上位4団体を決定します。
台本審査では委員会が選んだ数名の審査員による投票より、予選進出団体を選出します。

■本戦

全上演終了後審査員による講評を行います。勝負は観客と審査員による投票によって決められ、即日投票、即日開票によって最多得票チームが優勝となります。優勝団体には豪華特典が与えられます。

出場特典

- チケット売上に応じたキャッシュバック制度
- 会場費、物件料（※）、舞台スタッフ費がすべて無料
 - ※当日は当会館内のリハーサル室を用意します。

優勝特典

- 手作りチャンピオンベルト授与
 - ※その他の特典については後日詳細を発表します。

教文演劇

札幌市教育文化会館事業課（原則第二・第四月曜休）
〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目
WEB: www.kyobun.org/
TEL: 011-271-5822 FAX: 011-271-1916
Mail: en_fes_mail@yahoo.co.jp
教文演劇フェスティバル担当係 宛